

食のコンセプトを拡げていく中で樵木林業の認知も広げている。



図 101 地炎地食活動 親子薪炭料理教室 地元食品加工会社と協力

さらに樵木林業の施業方法「択伐矮林更新法」、備長炭の製造モデルについて県外の照葉樹施業や神戸市等での薪炭事業への導入について関係者と協議しているところである。

（B）森林サービス産業

樵木林業施業地や樵木林業跡地をつなぐ周遊コースを設定し、森林サービス産業として地域での健康づくり、牟岐町、美波町ボランティアガイド会が中心になって樵木林業の森林を案内し域外からの訪問者の誘導を図っている。

また牟岐町観光協会は、樵木林業の施業地跡である五剣山や鬼が岩屋をめぐる登山コースに設定している。



図 102 樵木林業跡地のガイドによる案内 図 103 樵木の山々の登山ルート

（C）しいたけ菌床素材を利用したしいたけ栽培と高い付加価値商品開発

しいたけ菌床素材メーカーは、製造した菌床素材を利用して自らしいたけ菌床栽培を行い、生しいたけの販売を首都圏まで拡販している。



図 104 菌床しいたけ贈答品



図 105 しいたけ利用カレー

(D) ニホンミツバチの養蜂

かつて徳島県県南地域の農家では、在来のニホンミツバチを飼育しており、農家にとっては貴重な甘味源であった。樵木林業により施業されていた当時の照葉樹林の面積は広く、ニホンミツバチにとっては大きな蜜源林であった。現在かつてほどの生産量はないが、海陽町の事業体は、地域のニホンミツバチ養蜂家からはちみつを集め、熟成させてから販売している。



図 106 海陽町檜木屋のニホンミツバチの巣



図 107 牟岐町産のニホンミツバチの蜜：百花蜜

引用文献

- 1) 兵庫北関入船納帳 1445 年資料 (1981 年活字化)
- 2) 青木家古文書 出羽島大島御番勤御沙汰書 正保 2 年 (1645 年)
- 3) 海部の樵木林業 徳島県山林会編集 (1923 年)
- 4) 令和 4 年度森林・林業白書
- 5) 宝暦期における日和佐廻船業者の動向 阿波学会研究紀要 郷土研究発表会紀要第 4 3 号 (1997 年)
- 6) 奈良時代の奈良盆地とその周辺諸国の森林状態の変化(XI)水利科学、丸山岩三 1995 年 39 巻 1 号 p.62-86
- 7) 農家の林業、徳島県海部地方のコリキ林業 農林省農林水産業応用試験研究、明永久次郎 (1960 年)
- 8) 海部の樵木林業～林業遺産登録を記念して～徳島県技術士会会報 (2019 年)
- 9) 広葉樹択伐矮林施業「海部の樵木林業」 森林科学 (2019 年)
- 10) 日本の林業遺産を知ろう！「第 22 回海部の樵木林業について」広報りんや (林野庁 2020 年)
- 11) 樵木の里・日和佐川 阿波学会研究紀要 郷土研究発表会紀要第 4 3 号 (1997 年)
- 12) 海部川と洪水、海部町の災害、人口動態・紺屋・織物・棉と麻の栽培・焰硝・藍作・養蚕について阿波学会研究紀要 郷土研究発表会紀要第 3 3 号 (1987 年)
- 13) 「海部の樵木林業」の再興に向けた森づくりへの方向
徳島県南部総合県民局 令和 4 年 3 月 (2022 年)
- 14) 「海部の祭り」と民俗芸能」文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業 徳島県海部郡無形民俗文化財調査報告書 海部文化財保護審議会 (2013 年)

参考文献

- 1 「海部の樵木林業」 徳島県日和佐農林事務所・海部流域林業活性化センター編集・発行 平成 6 年 3 月 20 日
- 2 「樵木林業に就いて」大日本山林会誌「山林」第 116 号 (大正 14 年 11 月) P17～P26 岩田照一
- 3 「樵木林業」大日本山林会誌「山林」第 117 号 (大正 14 年 12 月) p13～p25 岩田照一
- 4 「いわゆる樵木林業について」大日本山林会誌「山林」昭和 31 年 8 月号 P22 ～P25 宇川教一
- 5 海南町の神社建築 (海南町総合学術調査報告書 1992 年 p119～p130)
- 6 海南町史 第 2 編 歴史 林業 p643～p685
- 7 海南町の民具 (海南町総合学術調査報告書 1992 年 p209～p222)
- 8 藩政時代の林業 海部川 (海南町総合学術調査報告書 1992 年 p81～p100)